



日本共産党・前県会議員

2021年7月30日

# 加藤なを子

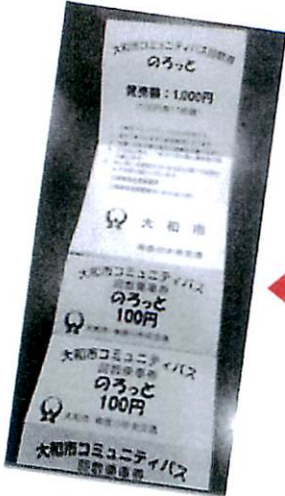


## 県政へのかけ橋 活動レポート

発行：日本共産党・加藤なを子事務所

<連絡先> 藤沢市藤沢2-3-2

TEL 0466-25-4776 FAX 25-4761



高齢者への移動支援として  
藤沢でもあるといいのにな



大和市のコミュニティバス（のろっと）一回100円

大和市の移動支援は、コミュニティバス（のろっと）の運行と一回100円で載れる乗車券です。長後の市営住宅近くにお住いの市民の方から見せていただきました。「藤沢にもあるといいのにな！」と要望が寄せられました。

石川・遠藤地域を訪問しました。湘南台から慶応大学までの相鉄線延伸について聞くと、「それよりもバスの本数を増やしてほしい。」また最終のバスの時間の延長、コミュニティバスの運行の要望が寄せられます。また高齢者支援で望むことは移動支援のシルバーパスです。

「免許を返上したあと、病院や買い物に行くのにタクシーを利用しているが、経済的に大変。」  
「バスの本数が少ないので出かける時に困る。」「バス停まで遠い。」など困っています。持続可能な未来都市藤沢をめざす、と市は言いますが、住民のくらしやすい生活こそ続けられるようにすべきではないでしょうか。

相鉄線の延伸であらたな駅をつくるより、高齢者移動支援と負担の軽減を求めます。住民が困っていることや望んでいることを優先して取り組むことが政治の役割です。

藤沢市は、年間1万2千円分（100円券綴り）の針きゅうマッサージ、お風呂、スポーツ施設利用ができるいきいき交流事業を今年度限りでなくすと聞きました。利用率が30%で悪いことを理由にしているようですが、高齢者のニーズにあわないからではないでしょうか。とりあえず針・灸・マッサージ・お風呂は継続の予定だそうです。来年はプールなど運動施設の利用はできなくなります。

なを子の花だより

今週は「マイヒレン」

片瀬地域を訪問し、鶴沼の蓮池でマイヒレン（舞妃連）の花が小雨の中、ひっそりと咲いていました。舞っているように花の色や形が変化するそうです。

(6月19日撮影)



# 住民の声を生かしたまちづくりを

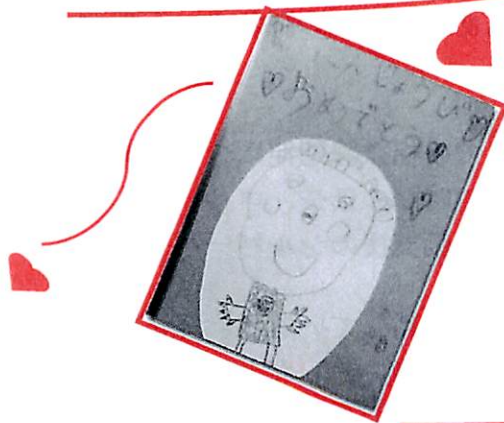


## 「村岡新駅」は中止

7月8日は、市民団体と一緒に、藤沢駅北口で「村岡新駅」設置中止を求める署名活動に参加しました。村岡新駅は、住民のための駅ではありません。大規模開発、大企業中心の駅づくりです。



地価が1.68倍に上がります(2017年度試算)。固定資産税、都市計画税も軒並み増加します。私たちの税金は、福祉や医療、教育にこそ使うべきです。藤沢市の福祉33事業(障がい者、高齢者のタクシー券、法人立保育園運営補助費、在宅福祉サービスなど)を削るなんて、とんでもないことです。住民説明会では反対の発言が多くありました。8月27日には公聴会が予定されています。



5才の孫が描いてくれました。首は？と聞いたら、「縮めているところだよ！」と。なんとなく似てますか？

(7月8日は誕生日でした。)

## 監視し合う社会なんてゴメンです ———— 飲食店に「通報班です。」と電話が

日本共産党県議団は、2023年の知事予算要望に向けて県内の各団体の皆さんの要望や意見を伺うため、連日懇談を続けています。私もこれまでいくつかの懇談に参加しています。

先日驚いたのは、飲食店に「通報班です。」と名乗る電話があったという話です。マスク飲食などお店のコロナ対策や酒類の提供について違反していないか確認の電話だということです。

通報の連絡が多く寄せられ調査をしているようですが、コロナ禍で休業や時短営業、酒類の販売停止など経営に苦しむ飲食店にひどい仕打ちです。誰かの通報により疑われ、違反しているとすでに支払われた協力金まで返済するようになるそうです。住民がお互いを通報し合う監視社会になっていくようで、恐ろしいことです。飲食店の営業は限界を超えています。

オリンピックはそのまま開催、飲食店に厳しい対応ばかり強めるのは矛盾しています。